



よ ば てんびょう 四つ葉点描

きょういくもくひょう 教育目標 「美しく生きる」



四日市市立中部中学校

令和7年10月1日

第11号

じぶん じんせい 自分の人生をコントロールするために

い しき しゅう かん 意識と習慣

あたらし じぶん つく 新しい自分を創る



10月8日開催の体育祭に向け、練習が始まりました。中部中の体育祭は、大人が準備した体育祭に参加するのではなく、生徒自らが「より良い体育祭」を創るために、キャストとして参画する・・・でしたね。

縦割り活動も3年目を迎えます。3年生は、過去2回の経験を活かし、「だれ一人取り残さない」縦割り活動の完成形を見せてくれるでしょう。2年生の役割は何なのか？1年生の目標は何なのか？各群で共通理解ができていますか？1群～3群までテーマをもって、意識を統一して取り組んでほしいと思っています。300人のキャストが力を結集する姿を、保護者・地域の方に見ていただきましょう。

まずは、意識する！

どんな自分になりたいのか。どんな自分が求められているのか。まずは、ここがスタートです。今までと違う行動が必要ならば、それを意識しなければ、行動は変わりません。



「あいさつ」を例にしましょう。

社会に出たときに、「あいさつ」ができることは非常に大切な要素となります。大きな声が出なくても、軽く会釈をするだけならば、誰にでもできます。でも、できる人とできない人がいる。先生にはできるけれど、お客様にはできない。部活動ではできるけれど、日常ではできない。できないことをできるようにするには、まずは「意識」しないと行動が変わらないのです。（できない状態があなたにとっての普通のため、できるまでには苦痛やストレスが発生します。）

意識しなくてもできる = 習慣化

ある程度続けると、「あいさつ」が自然とできるようになります。前から人が歩いてきたとき、毎朝教室に入るとき、「頑張らって、あいさつをしなくっちゃ！」と考えているうちは習慣になっていません。頑張らなくても無意識でできるようになってこそ、自分のものになったと言えます。過去と比べて普通が変わったのです。

よい習慣を増やす

「キャスト」として行動するのも、毎日家庭学習を欠かさないのも習慣です。今は、意識しないとできないことも、やがて、それがあなたの普通になります。（これが難しいのだけれども・・・。）

「ケ」の日の充実とは、新しい習慣作りともいえます。「どんな自分になりたいのか」とは、「どんな習慣を身に付けたいのか」という話なのです。

中部中学校を客観的に考察します

ぜんこくがくりよく がくしゅうじょうきょうちようさけっか ほうこく
全国学力・学習状況調査結果の報告



Part 2

せいとしつもんし

生徒質問紙からみえる傾向 ☆☆

下の表は、学習や生活状況についての回答です。中部中生徒の回答の中で、特に学力に関係するものについて紹介します。数値は、《 当てはまる、やや当てはまる、あまり当てはまらない、当てはまらない 》のうち、「当てはまる」＋「やや当てはまる」と回答した生徒の割合です。

質問	中部中	全国
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	84.4	77.7
授業では、学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	81.8	70.6
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	81.8	79.2
自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	72.8	63.0

前向きに授業に取り組み、自分の考えをまとめたり、それを発表したりすることに強みを感じていることがうかがえます。

質問	中部中	全国
授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	87.0	91.9
話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか	79.3	85.7
わからないことや詳しく知りたいことがあったとき、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	83.2	85.5
学習した内容について、わかった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	77.9	84.7

質問紙からも、考えを深めたり、工夫したり、改善したりすることが苦手な様子わかります。様々な場面において「対話」を行うことで、自分の考えを恥ずかしがらず、面倒がらずに、仲間に伝えあうこと。そして、そこからフィードバックを受け、自己調整し、粘り強く成長につなげていくことが大切です。